

10月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/10/03 (月)	東京は発表された日銀短観が予想を下回ったこともあり円安進行。ただ福井発言からやや持ち直し。欧米はユーロ売りが優勢。対円でも弱含みとなったが米長期金利が上昇したこともあり対ドルでは急落。	・9月の日銀短観大企業製造業DIは19 ・9月の米ISM製造業指数59.4	・中原日銀審議委員「量的緩和解除のハードルは高くない」 ・福井日銀総裁「異常な政策をいつまでも取り続けるという声にくみずることは出来ない」	113.56 113.45 114.38 114.15	136.56 135.90 136.75 136.06	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/04 (火)	東京は小幅に円安。早朝は株高を受けて強含みに推移したが終盤急切れ。行って来いに。欧米はユダヤ教の休日とあってか動意薄。材料的には決して少なくなかったが影響は限定的に。	・トルコのEU加盟交渉開始で合意 ・1ダヤ教の休日 ・8月の米製造業新規受注2.5%	・春日日銀審議委員「量的緩和解除、06年度以降の可能性は高まる」 ・ダラス連銀総裁「インフレ鈍化の兆しはほとんど見られず」 ・SL連銀総裁「年末までに50BP利上げという市場予想は妥当」	114.25 114.01 114.40 114.25	136.16 135.93 136.50 136.16	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/05 (水)	東京は一転ドル独歩安。とくに新規の材料は見当たらないが損切りが損切りを誘発させた。欧米は東京でボジションがはけたためか円が小安い。ただ一部通信社電などもありドルも買い難い。	・イスラム圏がラマダン入り ・9月の米ISM非製造業指数53.3 ・一部通信社電「ヘネズエラが米国債などを100億ドル売却し、ユーロや円、人民元に投資検討」	・FF連銀総裁「FRBは価格圧力を回避するため利上げする必要」 ・IMF高官「中国の為替政策を相場操縦とみなすこと難しい」	114.32 113.57 114.41 114.00	136.27 135.86 136.50 136.50	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/06 (木)	東京はユーロ独歩高。前日ヘネズエラの話が蒸し返されたうえヘッジファンド危機の噂もユーロ買いに寄与。ユーロは欧米タイムに掛けても大幅続伸。独連立政権樹立の可能性が高まったこともユーロ買い材料に。	・一部ヘッジファンドに危機の噂 ・ロシアがループルを切り上げるとの噂 ・BOEとECBがともに政策金利据え置きを決定 ・独で大連立政権樹立に向けた協議が基本合意	・ECB総裁「物価安定に関する上ぶれリスクを強く警戒する」 ・ダラス連銀総裁「コアインフレはFRB容認レンジの上限に近づいている」 ・NY市警察「地下鉄システムへの確かな脅威を受ける」	113.97 113.02 114.01 113.30	136.91 136.91 138.04 137.99	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/07 (金)	東京は夜半の米雇用統計待ちで大きな値動きはなし。ただ仲値不足思惑などからドル小じっかり。欧米はドルが続伸。雇用統計はマイナスの数字となったが、それでも予想より良好でドルの買い材料に。	・8月の景気先行指数100.0。9月末外貨準備高 42.03億ドル減 ・NY地下鉄で非難騒ぎ ・9月の米失業率5.1%、同非農業者雇用数 3.5万人	・谷垣財務相「米財務長官との会談は原油、人民元問題などを幅広く議論」 ・米財務長官「米貿易赤字は協調体制で取り組む必要がある」	113.40 113.25 114.01 113.80	137.95 137.64 138.20 138.04	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/10 (月)	東京休場でアジアタイムは総じて小動き。終日通して手控えムード強い。 米国休場で小動きが予想された欧米タイムだったが意に反して大荒れ。ドルが全面高で推移。	・東京市場とかナダ、米国市場が休場 ・複数報道「独与野党が大連立で合意、メルケルCDU党首が次期首相と決定する一方で主要閣僚ポストはSPDになる見込み」		113.68 113.55 114.30 114.10	137.87 137.54 138.26 137.68	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/11 (火)	東京はユーロ安。円も結果買われたが材料が揃っている割に反応は芳しくない。欧米でドル高進む。独政局に対する失望などが再び喧伝され、対ユーロでは一時1.19ドル台も。	・8月の機械受注8.2% ・人民元切り上げやバンド拡大の噂 ・9/20FOMC議事録公表「前回利上げ後もインフレ抑制に米金利は依然低水準」	・米財務長官「人民元柔軟性に向けたさらなる前進を望む」	114.09 113.81 114.64 114.55	137.48 137.01 137.56 137.37	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/12 (水)	東京は引き続き対ユーロ中心のドル高。日銀会合もやや失望する内容で円買いには結び付かず。欧米は東京から一転してユーロ高・ドル安。ヘネズエラによるユーロ買いの噂などもありユーロ買い意欲強い。	・ドンラティン死亡の噂 ・日銀決定会合で金利据え置き決定、スコアは7対2で前回と変わらず ・日銀が金融月報発表、景気判断は前回据え置き	・福井日銀総裁「政策金利は遅かれ早かれプラス」 ・FRB議長「米経済は石油価格高騰を無理なく克服した」	114.57 114.25 114.76 114.38	137.12 137.07 137.74 137.53	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/13 (木)	東京はドルが反発。貿易黒字激減もドル買い・円売りを増大させたがOP防戦売りのみあり115円届かず。欧米は揉み合いで始まるも、ドルはOPの防戦売りをこなしつつ上げると115円台へ。ただ終盤失速。	・8月の貿易黒字2330億円、前年比69%のマイナス ・8月の米貿易赤字 590億ドル ・ドル/円相場が2年3ヶ月ぶりの115円台へ	・中国財務相「人民元の切り上げでは世界的な不均衡を是正出来ない」 ・イッソグ ECB理事「物価安定へのリスクは上昇」	114.46 114.25 115.10 114.50	137.59 136.97 137.71 137.69	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/14 (金)	東京は揉み合い。前日115円台を一時上抜けたが定着しなかったことでドルを積極的に買い難い。欧米でドルは一時急落。ドル/円は114円台後半から1円以上も大きく値を下げた。	・9月の米CPIは1.2%、同小売売上高0.2%、同鉱工業生産 1.3%、同設備稼働率78.6%、10月のシガン大消費者信頼感指数75.4	・一部報道「米先物仲介大手レコの子会社レコセキュリティーが自己勘定と顧客勘定の清算手続き開始」	114.56 113.86 114.90 114.06	137.60 137.47 137.93 137.72	24H 寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで